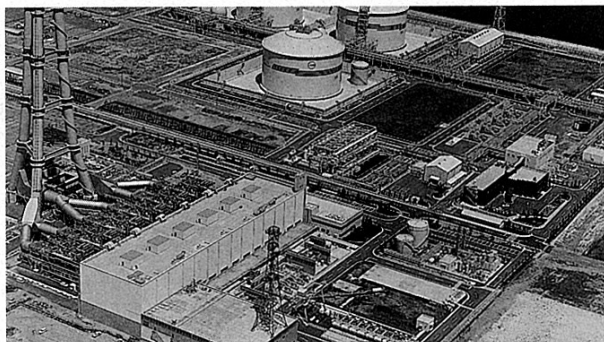


新大分1号系列、営業運転を開始



[6月20日＝大分] 九州電力株式会社殿新大分発電所1号系列(出力69万KW＝11.5万KW×6基)は、さる6月20日に通産局の使用前検査に合格し、営業運転を開始しました。

同発電所は、九州電力株殿初のコンバインドサイクル発電方式を採用したLNG火力発電所。同方式はガスタービンの排熱を利用することで、従来の火力発電よりも高い発電効率が得られ、さらに起動停止時間が短く、出力調整も容易なため、急な電力需要の変化にも素早く対応できるようになっています。

同工事において当社は昭和63年4月に建設所を開設し、鋭意作業にあたってきました。開設以来連続無災害記録を続け、この7月で1,200日を越えました。また、隣接する新大分事業所ではこの9月から同発電所の定修工事を順次(6基の間の1基毎に)行い予定になっています。

今回の1号系列に続いて、2号系列もすでに建設が進む同発電所ですが、この夏の電力需要のピークに向けて、その活躍が期待されます。
(大分建設所：河野通信員)